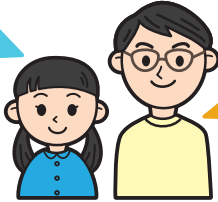


5 お子さんとの会話を充実させるポイント

伝えたい内容を言葉で表現できるようにしたいとき

こんなふう
に似ているもの
同士をまとめて、
グループに分けて
みたいんだけど…。



それは、「分類」
だね。分類して、
いろいろなものを
整理すると、よく
分かるね。

お子さんの伝えようとする気持ちを大切にしながら、話の内容を要約したり、別の表現に言い換えたりするなどして、お子さんが自分の伝えたい内容にふさわしい表現を考えられるようにすることが大切です。

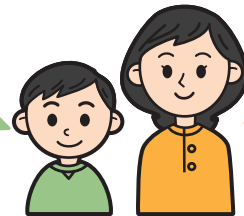
お子さんが伝えようとしていることを受け止め、要約したり、言い換えたりするなど、表現のヒントを示しましょう。

難しい課題を解決できるようにしたいとき

保護者の方が、すぐに解決方法を示すのではなく、解決への見通しをもたせたり、うまくいかない原因を振り返らせたりするなどして、お子さんが自分で解決できるようにすることが大切です。

お子さんの様子を見ながら、解決の見通しをもたせたり、それまでの取組を振り返らせたりしましょう。

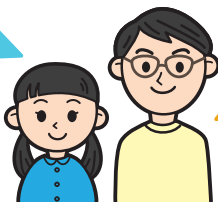
漢字のテストで
間違えちゃった。
何度も漢字を書いて
練習したのに…。



次の漢字のテスト
に向けて、どのように
漢字の学習をしたら
いいかな？

筋道立てて自分の考えを説明できるようにしたいとき

なるほど。三
角形の面積を求
める公式は、「底
辺×高さ÷2」
になるのか。



どうしてそう
なるのかを、も
う一度、自分の
言葉で説明して
ごらん。

保護者の方が納得できたとしても、他の人も同じように納得できるとは限りません。当たり前と思えることでも、理由や根拠を確かめるなどして、お子さんが自分の考えを筋道立てて説明できるようにすることが大切です。

お子さんの考えたことについて、そのように考えた理由や根拠を確かめましょう。

お子さんが、保護者の方に安心して自分の考えを伝えられるように、以下のようなことにも気を付けてみましょう。



- お子さんの顔を見て、会話をしましょう。
- うなずいたり、受け止めの言葉を発したりするなど、積極的に聞いている姿勢を示しましょう。
- お子さんの話を、最初から否定しないで聞きましょう。
- お子さんの話を、最後までさえぎらずに聞きましょう。

右の二次元コードから、令和3～5年度の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を御覧いただくことができます。

